

## ① おはなし玉手箱

Bさん： 私たち「おはなし玉手箱」は図書館が建設されたのを機に、地域に残されている言い伝えやお話、口伝で地域のおばあちゃまからお孫さんに伝わっていた地域の文化が、消えていくのではないかという危機感を持ちながら、何とかして次世代にこのお話を受け継いでいきたいと思い、地域のお話を紙芝居にしております。かきせ川の「七立栗と山焼き」で9冊目になります。一番最初には尊良新王（たかながしんのう）にまつわる「小袖貝」の物語を作りました。今日は皆様の地域に伝わっております、七立栗と弘法大師にまつわるお話を紙芝居にいたしましたのでご披露させていただきます。

(紙芝居実演)



司会： どうもありがとうございました。地区外から嫁いでこられた方、若い方、かきせ川流域に長く住んでいる私を含めた皆さん、この馬荷温泉並びに七立栗のことや、昔から行われていました山焼きのことを、この「おはなし玉手箱」の紙芝居で、こういうことが私たちの流域の宝だなということを再認識させていただきました。